

# 「組合員参加と運営のしくみ (柱2)の見直しについて

※補強「別冊資料B」

2020年10月ブロック連絡会

コープあいち理事会



生活協同組合  
コープあいち

## 今回の提案

### 提案1 「コープあいち組織運営方針の改定」について

- (1) 「(組織運営方針)柱2 身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加するしくみ」改定案
- (2) 「組合員活動の考え方」の見直し案

### 提案2 「組合員参加と運営のしくみ(柱2)の見直し」について

- (1) 見直しの内容について

### 提案3 「〈支援〉組合員参加を支援する制度・しくみ等」見直しの提案

- (1) 支援の充実のための、しくみの見直しの提案



# はじめに

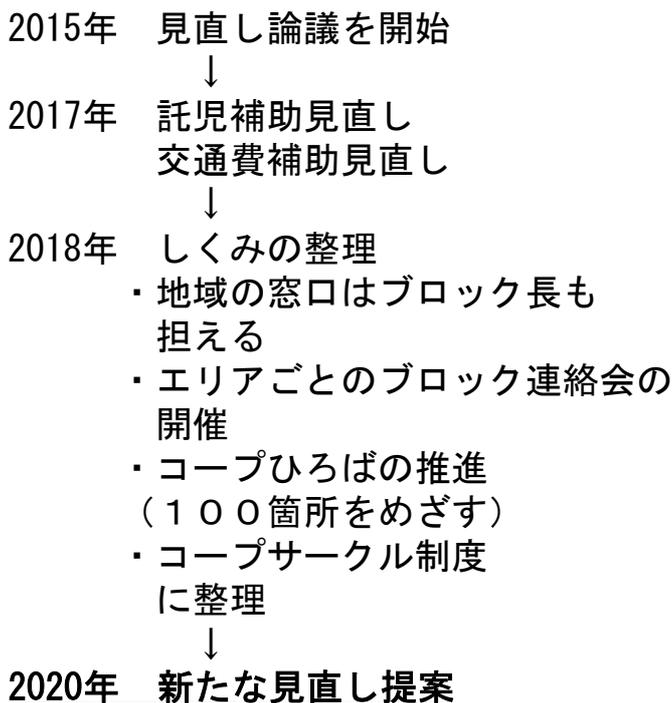
- ・ コープあいちでは組合員の平均年齢の上昇や女性の就労率の上昇が急速にすすむ中で、組合員の参加と運営のしくみを見直す必要性について問題提起をしてきました。
- ・ ブロック連絡会や総代会に向けた機関会議でも話し合いをかさね今年の総代会では「コープあいち10年の節目で持続可能な視点から見直しを検討、2021年の総代会に提案できるようにしていく」ことを決めていただきました。
- ・ 10年前に比べてご近所付き合いが少なくなるなど地域のあり方が変化し、働く方の増加に伴い、活動を支えた専業主婦が減少。集まるのが難しくなりつつありますが、ネットを使ったつながりなどつながり方は多様化しています。  
また、男性の参加が少しずつ増えていますが、活動を支えてくれる方の高齢化がすすんでいます。

これらの状況をふまえながら、10年後も今以上に組合員活動が続くように、そして、もっと組合員に広がるように見直していきます。



## 1. これまでの検討経過について

### (1) これまでの経過



2010年	コープあいち誕生。合併時に両生協で確認した「コープあいちのめざすもの」「組織運営方針(基本視点、組合員参加3つの柱、支援)」に基づいて、新しい「組合員参加と運営のしくみ」の検討開始。
2013年	合併から3年かけて地域ごとの話し合いを重ね、新しい「組合員参加と運営のしくみ」がスタート。(継続して検討するしくみ・制度も有り)
2015年	組合員活動交流会(刈谷)で現状や課題を話し合った。「メンバーの高齢化、若い方が入ってくれない」「地域委員会の名称や役割が堅苦しい」「インターネット活用など新しい形も必要」⇒こうした課題をうけとめて「しくみ」の見直し議論を開始
2017年	部分的な見直し。組合員の要望や意見を踏まえて託児補助を厚くし、交通費助成(敬老バスなど)のルールの見直し。
2018年	2017年の話し合いの結果、しくみは大きく変えず組合員の身近なところで、参加を広げ、事業や組合員活動につなげることとして整理し直し。 ①地域委員会の役割は継続していく。地域の窓口はブロック長も担えるようにする。②各ブロックの必要に応じて複数の行政区単位でのブロック連絡会の開催を可能にしました。③各ブロックで組合員活動のはじめの一步である「コープひろば」を広げていく。④ブロック内の組合員活動の情報交換や交流、報告、相談、日らの活動事例を紹介し合う場として「ブロック交流会」を開催できるようにしました。⑤「登録サークル助成制度」の名称を「コープサークル」と変更。
2019年	・ 総代会でいたがいた「総代会と組合員の声をつなぐ場」について、その具体化のためブロック連絡会で意見を聞きながら検討。 ・ 組合員活動報告会の開催。
2020年	新たな見直しの提案と協議



## (2) 組合員活動の**現状**

◇活動に参加する組合員数・・・約1,300名(2019年度)

◇地域委員会数・・・31行政区

地域の組合員(地域住民)の声を広く受け止めていただき、  
くらしの願いやニーズに基づいた活動をしていただいています。

◇くらしのテーマグループ数・・・138グループ

「コープひろば」を通じて子育て世代の参加が広がりました。

◇コープサークル数・・・63サークル

◇参加する世代・・・30・40代の参加が増加。活動の中心は60・70代。

幅広い年代の組合員が活動に参加。  
男性の参加者も少しずつ増加。



## (3) 組合員活動の**課題**

◇活動に参加する組合員の割合・・・0.26%

(組合員51万人に対して約1300名)

◇地域委員会・・・愛知県の行政区数54に対して31行政区

(名古屋市の区を入れると行政区69に対して)

当初掲げた「全行政区で地域委員会を作る」の実現には届かず。

◇くらしのテーマグループ数は99⇒138に増加。

ただし、育休明けで働く方の増加に伴い、活動できる方が減りグループの存続が困難なグループも。

◇コープサークル数は2/3に減少。

◇参加する世代・・・仕事復帰が増える40代後半や50代で減少。

平日の活動が難しくなる方が増加。



© CO-CP AICHI

### (3) 組合員活動の課題 (「ほこちゃんアンケートより分析」)

◇活動をしていない組合員からの半数の意見  
 「関心はあるが、時間やきっかけがない」  
 「面白そうな提案があれば知りたい」  
 「関心があり、参加してみたい」

◇活動をしている組合員から出された課題  
 「メンバーの固定化」  
 「仕事を始める」

◇10年前に比べて  
 「くらしのあり方の変化」  
 「集まることの困難さ」  
 「つながり方の多様化」

 【ほこちゃんアンケート】「組合員活動意識調査」

アンケートの目的  
 ○コープあいちが、組合員の「活動への参加」や「組合員同士が生活や商品、地域のことを話し合えるおしゃべりの場づくり」をすすめてきました。  
 ○来年(2020年)、コープあいちが創立10周年を迎えます。利用や活動への参加が、もっとひろがるように「組合員参加と運営のしくみ」の改善をすすめていきます。  
 ○多くの組合員の参加で、みんなが安心できる笑顔あるくらしをつくるためのアンケートに是非、ご協力ください。

問1、年代を教えてください。  
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

問2、性別を教えてください。 男性 女性

問3、家族の構成を教えてください。  
夫婦のみの家族 夫婦と子どもからなる家族 3世代家族 母子・父子家族  
単身 自分と親からなる家族 その他 ( )

問4、働いていますか？  
働いている (フルタイム) パートタイム アルバイト その他 ( )  
働いていない

問5、組合員活動を知っていますか？  
知っている 知らない

問6、組合員活動に登録していますか？  
している していない 以前していた

問7、問6で「している」とお答えいただいた方はどちらに所属していますか？(複数回答可)  
地域委員会 くらしのアーマグループ くらしと共同購入委員会 くらしとお店委員会  
店舗運営委員会 子育てひろばスタッフ ふれあいひろばスタッフ コープサークル  
コープひろば

問8、あなたはインターネットをどのように利用していますか、それぞれ1から4のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	自分自身が利用している	人に頼んで利用することがある	利用していないが利用してみたい	利用していない
A インターネットを利用した「こぼし」や商品の検索(Google/Yahooなど)	1	2	3	4
B インターネットでの本屋商品の購入	1	2	3	4
C インターネットでの一般の商品やサービスの購入(Amazon、楽天など)	1	2	3	4
D 自分発信のプロダクトSNS(Twitter/フッター、Facebook/フェイスブック、インスタグラムなど)	1	2	3	4
E LINE、Facebook/フェイスブックを複数利用したおしゃべり	1	2	3	4

組合員活動は、住んでいる地域でくらしや生活・商品のことが話し合えるしくみとして、組合員自身が活躍し、協力し、運営する自発的な活動の事です。

一葉園に続く

## 2. 提案の背景

◇生協は組合員が出資・利用・運営し力を合わせて、くらしの安全・安心を求めて事業や活動を行っています。それだけでなく、地域の組合員のくらしの変化に応じて、幅広い分野で「協同の輪(ネットワーク)」を広げ、よりよい地域づくりをめざしています。

◇組合員が主体的に事業や活動に関わることを組合員活動と言います。  
生協にとってはなくてはならない大切なことです。

◇10年後も今までのように組合員活動が続けられるように、もっと組合員に広げられるようにするために、組合員参加と運営のしくみ(柱2)の見直し提案をいたします。経過をふまえ課題に向き合ってまいります。

# 一緒に考えていきましょう！



# 提案 1 「コープあいち組織運営方針の改定」について

## 1. 提案趣旨

- ◇コープあいちは誰もが加入・利用（※参加を含む）できる地域に開かれた生協であるために「組織運営方針」を定めました。
  
- ◇「コープあいちの組織運営方針」の5つの基本視点「誰もが加入・利用できる、地域に開かれた生協になります」にもとづいて組合員の運営・参加を行ってきました。この基本視点は今後も変わりなく大切な事としてすすめていきます。
  
- ◇コープあいちのめざす組合員活動を実現するためには、くらしや社会の変化に対応しながら改善や見直しを行うことが欠かせません。組合員の参加を広げることを生協全体の目標としてあらためて明確に位置付け、そのあり方をみなさんと一緒に議論していきます。



## (1) 「（組織運営方針）柱2 身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加するしくみ」改定案

1. 組合員の自主、自発の活動や地域でのつながり、ネットワークを広め、幅広い世代のくらしに関わる様々な活動で、安心してくらせる地域をめざします。
2. 身近な地域で気軽に誰もが参加でき、楽しくゆるやかな学びあいの輪を広げます。
3. 商品を通じた活動をブロック毎に広げ、生協商品の良さや価値をお知らせする取り組みをすすめます。
4. 地域の組合員と理事会をつなぐ場をブロック毎に設け、組合員の声を持続可能な事業や活動に生かします。
5. WEBやSNSを活用した新しいつながりを広げます。



## (2) 「組合員活動の考え方」の見直し案

1. 組合員が主体となって、くらしや健康など日常的な関心ごとを楽しく交流し、学び、つながりあう場です。
2. コープあいちの商品や事業を通じて、組合員の参加や活動、利用の広がりをつくります。



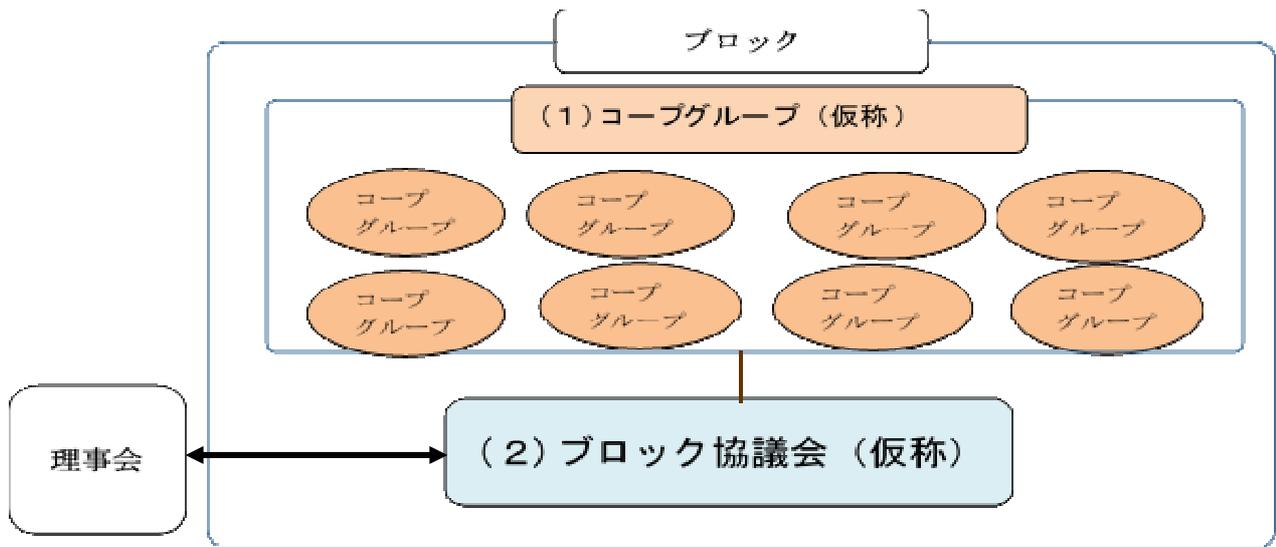
## 提案2 「組合員参加と運営のしくみ(柱2)の見直し」 について

### 1. 提案趣旨

- ◇(組織運営方針) 柱2 身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加するしくみ」改定案の内容を踏まえ、「柱2のしくみ(地域委員会、くらしのテーマグループ、ブロック連絡会等)」の見直しを提案します。
- ◇以下の内容は第1回ブロック連絡会で提案した内容に加えて、「ブロック内の組合員交流の場」を追加提案します。それ以外の内容に変更はなく、より詳しく説明するためのものです。



## 2. 見直し案のイメージ図



※ブロックの中には様々なコープグループ（仮称）とブロック協議会（仮称）があります。ブロック協議会は理事会とつながっています。



## 3. 見直し内容（案）

### （1）「コープグループ（仮称）」について

＜提案＞身近な地域で多様なテーマで「組合員がつくるグループ（組合員の組織）」が広がるように、現在の「地域委員会」「くらしのテーマグループ」から「コープグループ（仮称）」に見直します。

#### ①目的

- ・地域のテーマ、くらしのテーマについて学び、話し合い、人と人がつながり合う場とし、商品と関心のあるテーマに沿って、楽しく誰もが参加できる自主・自発的な活動を広げるために「コープグループ（仮称）」をつくります。
- ・地域委員会は、「地域」をテーマにしたグループとして活動します。引き続き、行政や地域団体との関係やつながりづくりを大切にしていきます。窓口機能はブロック長と連携して引き続きすすめます。



## (1) 「コープグループ（仮称）」について

### ②ルール

このルールはコープグループ（仮称）の結成及び組織と運営について定めたものです。

（結成）コープグループの結成は、理事会が承認します。

（役割）

- ・地域の組合員の暮らしにとって必要な「暮らしづくり、まちづくり」のテーマに沿って、暮らしを豊かにする活動に取り組みます。  
※テーマについては、活動の場所や中身などさまざまです。分野としては下記のようなものがあります。「食育・商品・環境・福祉・平和・子育て・男女共同参画・ユニセフ・国際交流・産消提携・暮らし・健康・文化」など。（宗教活動、政党活動、営利を目的とした活動は出来ません）。
- ・可能な地域では、行政や地域団体と連携した取り組みの窓口になり、地域のみなさんと一緒に暮らしやすいまちづくりをすすめます。

（名称）「コープグループ」は総称とし、各グループの名称は自由とします。



## (1) 「コープグループ（仮称）」について

（運営・構成）

- ・メンバーは登録した者に限られます。
- ・メンバーは組合員3名以上とします。
- ・メンバーは結成時、名簿を理事会に提出し承認を受けます。
- ・メンバーの登録期間は4月1日から翌年3月31日までとし再登録は妨げません。
- ・メンバーの中から代表と会計を1名互選します。
- ・コープグループの活動には「組合員活動に関わる費用補助の新ルール（案）」に基づいて補助を行います。
- ・定例会は、必要に応じ月に1回開催でき報告書を理事会あてに提出します。

※定例会とはコープグループのテーマに沿って、学習や暮らしに必要な話し合いを行います。また、自主企画や理事会からの相談事項を話し合うことを言います。



## (2) 「ブロック協議会（仮称）」について

＜提案＞地域の組合員と理事会をつなぐ場としてブロック毎に「ブロック協議会（仮称）」をつくります。

### ①目的

「理事会と組合員の声をつなぐ場」としてブロック毎に「ブロック協議会（仮称）」をつくります。

### ②ルール

このルールはブロック協議会（仮称）の運営について定めたものです。

（主催）理事会が主催します。

（役割）

- ・ブロック毎に各地域の課題を出し合い、解決に向けた相談をします。
- ・コープあいちの方針（SDGsの視点）に沿って、コープあいちの政策、方針づくりに組合員の声（意見）を活かすことをすすめます。
- ・ブロックの企画やブロック内の組合員交流の場についての相談を行います。
- ・行政対応や地域の行事対応なども話し合い、状況に応じて相談会をもってすすめます。



## (2) 「ブロック協議会（仮称）」について

（運営・構成）

- ・コープグループ（仮称）（現：地域委員会、くらしのテーマグループ）から各グループ1～2名まで委員を公募します。（それぞれの地域やテーマからバランスよく委員を公募するようにします）
  - ・委員は、当該地域の組合員20名までとし、任期は1年（連続2年まで）とします。
  - ・協議会（仮称）の開催は、各ブロックで相談し、3ヶ月に1回程度の開催を基本にします。また、各ブロックの必要に応じて、相談会を設けることができます。
  - ・ブロックの担当理事が参加します。
  - ・ブロック協議会責任者はブロック担当役員とし、事務局長をブロック長とします。
- ※相談会とは、ブロックごとの課題に応じて、相談の場を設置することができることを言います。

（活動費補助）

ブロック協議会（仮称）の活動には「組合員活動に関わる費用補助の新ルール（案）」に基づいて補助を行います。



### (3) ブロック内の組合員交流の場について

＜提案＞地域の組合員が交流できる場を2通り設置します。

#### ①目的

組合員活動の参加者を広げるために、ブロック内の組合員活動の情報交換や交流、報告、相談などできる場、学習会も開催できます。

#### ②ルール

このルールはブロック内の組合員交流の場の運営について定めたものです。

(主催) ブロック長が主催します。

(役割)

#### ○ブロック内の組合員誰もが参加できる交流の場（現ブロック交流会）

- ・各グループはこの場で活動紹介を行って参加者を広げる機会につなげます。
- ・ブロック協議会（仮称）で相談し、年に1回は開催できるようにします。

#### ○コープグループ（仮称）同士が交流する場（現ブロック連絡会）

- ・組合員組織の代表者等が集まり、地域の組合員活動の情報交換や交流、連絡、相談、他の地域の活動事例を紹介しあう場です。
- ・ブロック協議会（仮称）で相談し、年に2回までは開催できるものとします。



### (3) ブロック内の組合員交流の場について

#### (運営・構成)

- ・開催時期は、ブロックで相談します。
- ・ブロックの担当理事が参加します。
- ・交流の場の内容に応じて地域の諸団体等もブロック長の承認の上、参加していただきます。

#### (活動費補助)

自主参加の為、交通費などの補助はありません。

## 提案2 「組合員参加と運営のしくみ(柱2)の見直し」 について



### 4. まとめ

#### ①地域委員会を各行政区につくることの取り下げ

現在、関係づくりができていないグループは、引き続き行政や地域団体と連携し、地域のみなさんと一緒にくらしやすい地域づくりを進めていただきます。新しく立ち上げたグループが「地域」をテーマに活動をしたり、深めていくことは可能です。

#### ②コープグループ（仮称）のメンバーは3名以上

身近な地域で気軽に楽しくゆるやかな形でも参加できるようになります。現行のメンバーが減ってしまっても継続しやすくなります。

#### ③ブロック協議会（仮称）は地域の組合員と理事会をつなぐ場

全体の組合員活動の方針やブロック内の活動について直接協議できる場をつくりまします。グループの課題も相談できます。

今までの活動にプラスした場です。

## 提案3 「〈支援〉組合員参加を支援する制度・しくみ等」 見直しの提案



### 〈提案理由〉

コープあいち発足10年をむかえ、めいきん生協、みかわ市民生協から引き継いだ組合員活動の支援のあり方について、社会の変化や組合員のくらしの変化に基づき、見直しをすすめます。

### 1. 提案趣旨

- ◇ 「〈支援〉組合員参加を支援する制度・しくみ等」は組合員の参加を広げ、支えるしくみとしてこれまでは「平日・日中・一カ所に集まって」活動できる組合員を想定してつくってきました。
- ◇ これまで組合員参加の広がりには十分につくれていないのが現状です。背景として女性の就労率が高まり、従来の支援のしくみでは支えづらくなっています。
- ◇ 情報提供・サポート・場づくりといった人やモノを通じた支援をさらに充実させていくことが必要になってきています。



## 2. 「<支援>組合員参加を支援する制度・しくみ等」の考え方

- (1) 組合員が自主的・自発的にすすめる活動は、くらしを良くしたいという思いで始まったものです。これらの活動への支援や費用補助は、事業や活動を通じてコープあいちの健全な発展と安心してくらす持続可能な住みよい地域社会の実現を目的としています。
- (2) 組合員活動に関わっていない方へのお知らせを強化し、参加の場づくりを広めていきます。
- (3) 「生協」「商品」「くらし」に関わるまなびを充実していきます。
- (4) 多様なライフスタイルに合わせた参加の方法を充実させます。特にWEBを活用した情報発信を強化し充実させます。
- (5) 子育て中の組合員の活動の場と機会を増やすため託児制度を充実させます。
- (6) 事業や活動のサポートを行うコープサポーターの支援を広げていきます。



## 3. 組合員活動費の基本的な考え方

- (1) 組合員が協同して、住みよいまちづくり活動をすすめるための「組合員活動に関わる費用補助」は「活動に対する手当（報酬）の支給」ではなく「組合員の家計からの持ち出す分を少なくする」という考え方で費用の一部を補助するというものです。これは組合員活動にかかる費用の実費を全額支援するという意味ではありません。
- (2) 組合員活動費は組合員のみなさんが商品やサービスを利用することで生み出されるお金（組合員の財産）から支払われています。そのため、活動の中で商品やサービスの利用を促進し、参加や活動が広がるよう、組合員全体や地域への還元も視野に入れ補助をします。
- (3) 個人または特定の団体の利益に供することなく、常に有効かつ適正に行われるとともに、「民主（みんなで確認する）」「公正（正確でいつわりない）」「公開（委員や組織全体に開かれている）」にもとづき、大切に使います。
- (4) 活動への費用補助という観点から、参加者自身が費用を分担する「自己負担」「実費補助」を原則とします。



## 4. 組合員活動に関わる費用補助

### (1) 委員会・グループへの補助について

#### ①グループ運営費補助

活動に関わる、会場費・資料代・託児費用の実費補助をします。  
※変更なし

#### ②自主企画費用補助

自主企画のための年間合計金額の上限は3万円

＜提案理由＞

現在の自主企画に使われている補助は、年間平均が2万円以下となっており3万円を越えての申請は少ないため、現状に合わせた額の見直しを提案します。追加の申請もできません。

#### ③通信費補助

廃止

＜提案理由＞

当初は電話代やFAX代などの費用が発生していましたが、現在は携帯電話の通話料やメール・SNSの通信費では定額制が普及し、実際の費用持ち出しがない場合も多くなっていますので廃止を提案します。



## 4. 組合員活動に関わる費用補助

### (2) グループのメンバーへの補助について

#### ①交通費補助

補助基準に変更なし。

補助金額は一人あたり月1,000円を上限とする。

(複数のグループに所属した場合でも一律上限1,000円)

＜提案理由＞

組合員活動費は、活動の全額を補助するものではなく一部を補助するものです。組合員活動は身近な地域で行う趣旨から、上限を1,000円としています。

#### ②会議・活動費補助

補助なし

※理事会が要請する会議や活動への参加には従来どおりの補助を行います。

＜提案理由＞

「組合員活動に関わる費用補助」は「活動に対する手当（報酬）の支給」ではないという組合員活動費の基本的な考え方に基づいての提案です。

費用補助は当初、活動を円滑にすすめるために補助していました。しかし報酬のように伝わってしまい、捉えられていた事実もあります。そのことについては、この間、正してこれられなかったことを理事会として反省しています。理事会が参加を要請する会議については、従来通りの補助とします。



## 5. わかりやすい情報提供と、オンラインの場づくり

- (1) これまで、組合員参加を広げるための情報提供として、「ウイズコープ（組合員向け広報誌）」や「コープあいち通信（総代向け通信）」に加えてWEBサイトの「ワイガヤナビ」で活動の情報をお知らせしてきました。
- (2) コロナ禍で従来の活動が十分出来なかった経験から、自宅でも一人でも活動に参加できるインターネットや動画を使った参加の新しい場づくりや、学びの場づくりをすすめます。

※下記支援を検討していきます

- ①コープあいちのWEBサイトをより見やすく改善
- ②生産者・メーカーと協力してインターネットでつながる学びのしくみづくり  
動画(ビデオ)で商品学習や産地・工場見学ができるように
- ③「オンライン会議」や「オンライン学習会」の開催講習(インターネット活用)
- ④20年度「まなびガイドブック」の積極的な活用(活動ガイドラインに沿って)
- ⑤SNSの手軽さを活かしたタイムリーな情報提供  
(特にブロックLINEの活用)
- ⑥「ワイガヤナビ」を今まで以上に充実



## 6. 気軽に集まれる場「コープひろば」

- (1) 組合員活動を経験したことのない方がよりよいくらしや生協の活動を知る場として「コープひろば」を開催しています。
- (2) これまで「コープひろば」の参加者から、新しいテーマグループが誕生したり、総代に立候補するなど、活動の“はじめの一歩”の場として活動の広がりづくりに役立ってきました。
- (3) 「コープひろば」の会場や参加者を増やしていき、活動参加を広げるためにより参加しやすいカタチで開催できるようにしていきます。

※下記支援を検討していきます

- ①内容を今の社会や関心に合わせて見直しを行い、又生協の事業・活動全般についてお知らせできるようリニューアルします。
- ②オンラインでの開催  
コープひろば・オンライン(仮称)を準備し、諸事情により会場にての参加が困難な方でも気軽に参加できる新しい場の提供をする



## 7. 身近な地域での支え合い活動「子育てひろば」「ふれあいひろば」)

- (1) 地域での組合員自身による「子育てひろば」「ふれあいひろば」などをはじめ多様な取り組みが、地域コミュニティの中で期待されています。
- (2) コープあいちとして、現在組合員が自主的に取り組んでいる地域の中での多様な取り組みを「地域支え合い活動」と位置づけ、応援します。

※下記支援への変更を検討していきます

### ①「子育てひろば」のルールと活動応援内容

「子育てひろば」の位置づけは従来と変わりませんが、スタッフの位置づけをコープグループ（仮称）とすることを提案し、自主自発で多様な活動が出来るように提案します。

### ②「ふれあいひろば」のルールと活動応援内容

「ふれあいひろば」の位置づけは従来と変わりませんが、スタッフの位置づけをコープグループ（仮称）とすることを提案し、自主自発で多様な活動が出来るように提案します。

### ③「子育てひろば」「ふれあいひろば」活動応援基準

- ・「子育てひろば」「ふれあいひろば」に関する従来の費用補助ルールを改め、「組合員活動に関わる費用補助の新ルール（案）」に基づいて補助を行います。
- ・ひろば開設時の必要備品費用補助はなくなり、コープグループ（仮称）の活動にあたっての補助の運用になります。



Copyright © CO-CP AICHI All rights reserved.



## 8. 組合員サポート制度（コープサポーター）の充実

コープサポーターは、コープあいちの内部資格を取得し業務委託契約をした組合員のみなさんのことを言います。コープあいちの事業と活動がさらにすすむようにコープサポーターの業務を充実させます。

※下記が現在の支援内容になります

- ①コープあいちの商品・サービスを上手に使うためのお知らせやお手伝い
- ②組合員活動（自主・自発の活動）のお手伝い
- ③活動にインターネットを活用するための講習（オンライン会議やSNS活用）
- ④コープサポーターが持っている専門資格を生かしたお手伝い  
栄養士やファイナンシャル・プランナーなど専門資格を活かした学習会講師など



Copyright © CO-CP AICHI All rights reserved.



以上、提案となります。

一緒に考えてまいりましょう。